

項番	質問	回答
1	作業部会主査の皆様は職場でも管理職をされていると思いますが、若手を作業部会員に派遣することで経験を積んで成長し、本業にもフィードバックできるようになる、といったことはあるでしょうか？ 具体的なエピソードがあればお聞かせください。	作業部会員となることで学外の人脈ができ、先端的な知識を得て自館の業務に活かすことができたり、自館の出張費ではなかなか海外に行く機会もなかったが、JPCOARを代表して海外出張を経験させることができたりと、人材育成につながっています。
2	JPCOAR若手作業部会員みなさまに質問です。 JPCOARがコミュニティとして活動するためには、参加機関の職員一人一人のコミットが欠かせないと考えています。 そのひとつが作業部会員だと思います。JPCOAR作業部会に参加して良かった点、ご所属の機関へどのような還元ができたとお考えでしょうか？ また、作業部会員でなくともこんな風にかかわってほしいという希望はありますか？	若手作業部会員から寄せられた意見ををご紹介します。 ○JPCOARに参加する他機関の活動やJPCOARの取り組みに今まで以上に関心を持ち、学ぼうと考えるようになりました。日常業務へのフィードバックや管理職に情報収集を命じられた際に役立っていると感じます。 ○コミュニティのなかで、いろいろと問い合わせいただくことがあります。問い合わせへの対応などを行っている、曖昧に理解している箇所などはお答えすることができないため、自分自身の知識・理解を深めることが出来ていると感じています。また、リポジトリに限らず、いろいろと業務上の問題等を相談できる仲間ができたことは、このような学外組織に参加して良かったことのひとつです。 JPCOAR Newsletter: CoCOAR; 13号では、事務局や若手作業部会の方の活動を紹介しています。こちらもぜひご覧ください。14号でも別の作業部会の方から執筆いただく予定です。 https://doi.org/10.34477/0002000069
3	オープンアクセスの中で、ゴールドOAの占める割合が大きくなってきているかと思いますが、JUSTICEとの連携などは考えられているのでしょうか。	2020年度には、JUSTICEとJPCOARの作業部会でオンラインの情報交換会を複数回実施しています。2021年度は、月刊JPCOARへの企画にもご協力いただいています。
4	ご相談というか、なんというか、当方大学の図書館なのですが、一部の教員の方からは、「有力ジャーナルに出した方が、知名度も上がるし、被引用数も増えやすいのに、リポジトリになんで登録しないといけないのか」という意見が出ています。これに対してどう反応していいものやら悩んでおります...	質問の意図を誤解しておりましたら申し訳ありませんが、グリーンOAに関する質問という前提で回答いたします。 グリーンOAについてであれば、リポジトリの登録 or ジャーナル投稿のどちらか二者択一ではありませんので、リポジトリについて誤解されているかと思われます。リポジトリの位置づけなどを説明し、またそのメリットを説明する機会ととらえることもできるのではないのでしょうか。メリットとしては、以下を挙げることができそうです。著者最終原稿を提出するひと手間を追加することで、論文が登録されるDBが増える、（DBによっては）OA論文として検索できヒットしやすくなる等、アクセス数を増加させる（知名度を上げる）要因が増加する可能性があるなどです。リポジトリの営業については、各機関お悩みかと思いますので、ぜひMLでの話題として取り上げていただければと存じます。
5	先のコミュニティ強化・支援作業部会に質問です。JPCOARのメーリングリストにおいて、所定書式があることにより投稿のハードルが高いとの意見が寄せられているかと存じます。また、書式が異なる投稿では回答者の方の管理面の煩雑さもあるのではと推察します。今後、投稿者・回答者双方のためにGoogleやMicrosoft等によるフォーム化またはフォーム併用等について、ご検討の予定はありますでしょうか。	メーリングリストの書式がご負担になっているとのこと申し訳ありません。また、回答側についてもご配慮いただきありがとうございます。 ご提案いただいているウェブフォームについては、JAIRO Cloudコミュニティサイトの掲示板を閉鎖し、次の情報ツールについて検討している際に候補となりました。ただ、JAIRO Cloudはユーザー同士の相互サポートが前提となっているサービスですが、ウェブフォームではそれが実現しづらく、お問い合わせ内容を効率よくコミュニティ内で共有できるメーリングリストの採用に至りました。 書式についてはあくまでJAIRO Cloud移行タスクフォースへの「問い合わせ」にお願いしているもので、その他の投稿については自由にお書きいただいてもかまいません。どのように「問い合わせ」していいのか分からないときには、まずユーザー相互のやりとりを通じて、疑問点等を明確にいただき、その上でお問い合わせいただければと思います。 また、書式についても、適宜見直しを行っておりますので、特にご負担になっている点などあれば、ぜひMLで具体的に問題提起いただけますと幸いです。
6	リポジトリスーパー初心者なのですが、MLに投稿される質問が専門用語過ぎてハイレベル過ぎてほとんど理解できません。よって、MLに質問を投げかける壁が高い。立ち上げたばかりで質問できる先輩もおらず、かと言ってMLに投稿するには勇気がいる。手引書では説明が足りないと感じています。	きっと同じように、分からない、けど、聞けない、と感じていらっしゃる"初心者"の方が他にもたくさんいらっしゃると思います。皆だれしも最初は初心者で、初歩的な質問を馬鹿にする方はいないと思います。勇気を出して投稿していただければ、コミュニティにとって大きな貢献となり、大変ありがたく思います。JPCOARコミュニティ強化・支援作業部会でも、MLへの投稿のハードルが下がるよう、いろいろな工夫や企画を考えていきたいと話合っています。
7	junii2からJPCOARスキーマに切替や拡張が進むことで得られる成果等や事例等、具体的なことは観測可能でしょうか。	2021年度時点で観測できることとしては、IRDBコンテンツ分析において新たな項目であるアクセス権による分析が可能となったことやIRDBで出版タイプ、助成機関といった新規項目での詳細検索が可能となっている点があります。 また、JPCOARスキーマを検索フィールドのベースとしたCiNii Researchが2021年4月から正式運用されており、DOIによるコンテンツへのリンクや再利用のためのライセンス表示、関連するコンテンツ同士の紐付けなど、JPCOARスキーマ策定時に重視して拡張した点が分かりやすく見て取れるようになっています。 参考：第3回学術コミュニケーションセミナー（月刊JPCOAR）「CiNii Researchによる研究データ利活用」 https://doi.org/10.34477/0002000096 なお、海外ではFAIR原則の成熟度モデルをメタデータスキーマに適用する試みもあるようですので、こうした外部の指標を用いてJPCOARスキーマを評価することも一つの手法として考えられます。（現時点で実際に取り組むかは未定です。） 参考：OpenAIRE Guidelines for institutional and thematic Repository Managers v4.1-rc1 https://openaire-guidelines-for-literature-repository-managers.readthedocs.io/en/latest/fair_enabled.html

項番	質問	回答
8	DOIのお話がありました、一度付与されたあとに、内容の修正ができないと認識しており、DOIの付与に慎重になってしまうと思うのですが、考えすぎでしょうか？	コンテンツへの持続的なアクセスを保証するため、ご指摘のように一度登録したDOIの変更や原則としてDOIを付与したコンテンツの削除ができないといった制約があります。一方、メタデータについては、以下ガイドライン別表1のコンテンツ種別（JaLC システムでの分類）の変更を伴う資源タイプの変更はできませんが、それ以外のメタデータの変更や追加は可能です。DOIの付与により、コンテンツがより利活用されやすくなることが期待できますので、DOIの付与をご検討ください。 IRDBデータ提供機関のための DOI管理・メタデータ入力ガイドライン JPCOARスキーマ編: https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/160 junii2編: https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/215
9	貴重なお話をありがとうございました。このところ、研修が非常に多く、どの研修が自分のレベルにあったものなのか、求める内容なのか悩むことが多いです。例えば、この研修は「こんなレベルの大学向け」など、目印をつけていただくことは可能でしょうか。	今後の研修の案内の参考とさせていただきます。なお、過去に実施した研修の資料などについては、レベル別、分野別にまとめて公開しております。ご参考になれば幸いです。 https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/training
10	Community Frameworkチェックリストの結果の活用方法について質問です。 データを集めた後は、例えばどこかのWebサイト等で閲覧できるようにされる予定でしょうか。 それとも自己評価にとどめるのでしょうか。活用方法の想定などがあればご教示ください。	集計・分析した結果をJPCOARウェブサイトで公開する予定です。公開された集計・分析結果を利用して、ご自身のリポジトリの強みや弱みの把握、自己評価にご活用ください。
11	・JAIRO Cloudは共同運営というお話でしたが、各JAIRO Cloud利用機関にはどのような役割が求められるのでしょうか。具体的に求められる役割がわかりませんでした。	各会員が、JAIRO Cloud運用に関わる疑問点や不具合解消、ノウハウの会員相互の共有や協力、改善を提案いただくことなどを通じて、システムの安定的運用をともに実現していくことが共同運営ということと考えています。また、ぜひ作業部会等への派遣も協力をお願いします。
12	・会費の名称がJAIRO Cloud利用料金となっているためサービスとして提供されているものかと感じていました。JAIRO Cloud利用料金とはどのような考えのものなのでしょうか。	JAIRO Cloudについては、以下のURLでサービス範囲などをお示しています。 https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/42 コンテンツ登録やOAI-PMHなどの機能はもちろんサービスとして提供しておりますが、ユーザーサポートについては、共同運営のもと相互扶助を前提としております。また、自機関のデータのバックアップなども利用機関のみなさまにはお願いしております。詳細は https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/42 また、「国立情報学研究所共用リポジトリサービス利用規程」及び同「細則」をご確認ください。この前提のもと、比較的安価な利用料金の価格が設定されておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
13	JAIRO Cloudは共同運営というお話でしたが、JPCOAR JAIRO Cloud Community MLへの投稿は明確な回答が得有れると保証のあるものでは無く、各利用機関の事例や対処法を共有して解決を目指すという場になるのでしょうか。	JPCOAR JAIRO Cloud Community ML（JAIRO Cloudのユーザーサポート・相互協力用）には、JAIRO Cloud（WEKO3）本番移行のお問い合わせ（障害報告・質問・要望）やJAIRO Cloudの質問についての公式の問合せ窓口と、利用機関相互の情報共有の場という2つの役割があります。前者の本番移行に関する障害報告・ご質問・ご要望については、「投稿フォーマット」に沿って投稿してください。「投稿フォーマット」に沿ったものであれば、操作方法等なんらかの回答を行います。後者については、会員相互での自由な意見交換、相互扶助により不具合の解消、ノウハウの共有や協力が行われることを期待しています。詳しくは、 https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/weko3-mig-inquiry および https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/155 をご確認ください
14	リポジトリについて、現在のシステムからJAIROcloudに移行するようですが、相談に乗ってくれる部署・担当の方は、JPCOARにいらっしゃるのでしょうか？ 司書でもなく、半年も経たないうちに移行するということで、非常に困っております。変な質問、意見ですみません。	過去の移行に関する説明会やFAQなどは以下にまとめていますので、ご参考になれば幸いです。 https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/search?page=1&size=20&search_type=2&q=95 会員機関の中には、他システムからJAIRO Cloudへの移行を経験された機関の方もいらっしゃいますので、JPCOAR JAIRO Cloud Community ML（JAIRO Cloudのユーザーサポート・相互協力用）などで、ご相談されてはいかがでしょうか。 https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/155